

平成 29 年 3 月 吉日

担当者各位

一般社団法人 中部地区医師会検診センター
所長 與那嶺 吉正
-公印省略-

平成 29 年度人間ドック、健康診断での腫瘍マーカー廃止について

表題の件につきまして、AFP (肝臓がん)、CEA (大腸がん)、CA19-9 (膵臓がん)、CA125 (卵巣がん) については、早期発見としての有用性が証明されていないこと、また異常がなくても陽性となること (偽陽性) が多く見られ、受診者様が精密検査を受けて結果が異常なしとなる場合も多く、受診者様へ不要な精密検査、及び検査料金 (出費) と負担をかけてしまうという、不利益も指摘されています。また陰性でもがんを否定することはできません (偽陰性)。またこれらの腫瘍マーカーは他に代用できる検出力の高い検査があります。AFP (肝臓がん)、CA19-9 (膵臓がん) については腹部超音波検査、CEA (大腸がん) は便潜血反応検査、CA125 (卵巣がん、子宮がん) については子宮がん検診 (子宮頸部細胞診・経膈エコー) 等の検査にて代用できます。

上記理由により、腫瘍マーカー検査を廃止させていただきます。

また、PSA (前立腺特異抗原) については、継続して検査いたしますが、試薬高騰に伴いサービス項目としての実施は廃止させていただきます
ご理解の程、よろしく願いいたします。

一般社団法人 中部地区医師会検診センター
所長 與那嶺 吉正
〒 904-0113 北谷町字宮城 1-584
電話 098-936-8200
FAX 098-936-8207